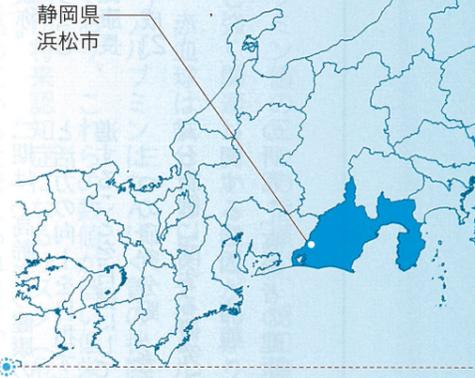




休会2クラブを復活させて、全地区にクラブ設置

静岡県浜松市 みさくほ 水窪地区シニアクラブ連合会

●クラブ数 10クラブ
●会員数 470名(男性193名、女性277名)



信州と三河の境界、遠州の北端に位置する水窪地区は山林が97%を占め、かつては人口11000人の「山の都」とも言われる活気あふれる町でしたが、今ではその面影はなくなり、人口は2300人と大きく減少し、過疎化が進み、地区の高齢化率も59%を超えております。その地域で10クラブ・会員470人で水窪地区シニアクラブ連合会は活動をしていま

す。私が2年前(平成26年)に地区連合会会長を引き継いだ時に、この地区の最優先課題は、休会クラブの復活と女性部の立ち上げである

リーダーを探すこと、事務処理代行によりクラブ復活

地区には、5、6年休会している2クラブ、休会が危ぶまれる1クラブがあり、合計3クラブを対象としてクラブ復活に取り組むことになりました。まず、核となるリーダーを見なければなりません。



地区連合会主催スポーツ大会

休会中の1クラブは、タイミング良く会社を退職して帰郷した方がおられることを聞き、その方を前会長と共に訪ねました。数回訪問して単位クラブ会長をお願いしたところ引き受けていただくことができ、クラブを復活できました。現在25名で活動しています。二つ目は、町の中心部から離れた標高1100mの峠を越えた場所にあり、しかも

地域は超高齢化で役員のみならずも無くなり、休会となったクラブでした。これは「特別の方法で解決しなければ」と考えました。地域の行動力ある女性の方に会員になってもいい、その方に連絡員をお願いして、地区連合会事

務局が事務処理を代行することで復活を実現しました。地区連合会事務局は社会福祉協議会の隣室にあり、私(会長)が通っています。三つ目の休会が危ぶまれているクラブは、会員が5名になっていました。地理的に前出二つ目の地域に近いこともあり、そのクラブに合流して当面の間一緒に活動することで、クラブ未設置地域の発生を防ぎました。前のクラブは12名が加入、このクラブと合流したことで会員17名になりました。この地域にはまだ未加入の高齢者がいますので、現在は自治会に話をし、会員加入促進に向けた働きかけをしているところです。

で女性部が発足しました。具体的な活動についてはこれから協議のうえ決定して行く予定ですが、今年の輪投げ大会のレクリエーションでは従来になく女性が大半参加されて、一歩を踏み出した」とうれしく感じたところです。

今回、加入促進に効果があつた取り組みは、加入チラシや市町広報などの媒体を使ったクラブ活動のPRと、役員・会員が丸となった、役員加入促進実施計画の実行でした。また、役員問題で解散、休会したクラブの問題に関しては、その地域への継続的な働きかけが何よりも重要であると思います。

すべての地域にクラブ会員を！

これらの取り組みの結果、水窪地区全地区にクラブが設置され、クラブ活動へ参加することが可能になりました。

女性部の立ち上げに関しては、女性会員が活発に活動しないと会が盛り上がりがないと考えたことがきっかけです。県連合会の女性委員会の規約を参考に、市連合会女性部から部長他3名をお招きして指導を受け、10名体制



再興したクラブとの交流会

(会長 守屋銀治)

